

日本共産党

党地区 医療・福祉対策室長

いも かわ

芋川 ゆうき

生命保険代理店を立ち上げ、がん専門医と「暮らしの保健室」を開設し社会福祉に携わる中で、介護保険の矛盾や「自己責任」という言葉に苦しむ人たちと向き合ってきました。

この1年、星見てい子都議と「なんでも相談」にとりくみ、保育園に入れず働き方に悩む方、介護のために自分を犠牲にする方など多くの声を聞いてきました。

この声を区政に届け、子育て支援や介護・福祉をさらに前進させるために、がんばり抜く決意です。

プロフィール 1982年群馬県藤岡市生まれ。前橋国際大学国際社会学部卒。大手通信会社などを経て、保険代理店で独立。2歳の娘を子育て中

活動地域 洗足、南、大岡山、原町2丁目、碑文谷1~4丁目、目黒本町2丁目、碑文谷5~6丁目、鷹番1~3丁目、平町2丁目



「暮らしの保健室」の経験活かし
医療・福祉のまちをつくります

日本共産党が4人→5人へ議席をふやし、区民の願いが実りはじめています

4年前の区議選で、日本共産党は「特養ホーム・認可保育園の増設」を掲げて、4人から5人へ議席を増やしました。この力が、区民の暮らし・福祉に冷たい自民・公明主導の区政のもとでも、特養ホーム・認可保育園の増設へ、区政を大きく動かしました。区民の願いを実現していくため、日本共産党はがんばります(2面もご覧ください)。

2000年以降、建設ゼロ

目黒区は、介護保険がはじまった2000年以降、特養ホームを1つもつくらず。こんな区は23区でも目黒区だけでした。

3か所300人分、建設開始

廃校となった中学校跡地などに3つの特養ホームの建設設計画をつくらせ、建設がはじまりました。さらに増やします。

待機児率全国ワースト 区立保育園を廃止

「保育園に入れない」——区民の悲鳴があがり、待機児が増え続けているのに、目黒区は「土地がない」「お金がない」と対策を放置。4年前、待機児率は6割と「全国ワースト」に…。それなのに、自民・公明などの賛成で区立保育園を次々廃止しています。

4年間で22園2417人分を増設

日本共産党は、認可保育園の増設をくりかえし求めてきました。区民とともに区内の「公有地視察ツアー」も実施し具体的に提案。今年4月1日までの4年間で2417人分を増設し、2020年4月1日には待機児ゼロを実現できる見込みです。

区立保育園の存続・新設、保育の質の向上をめざします

区民のみなさんと実現!

入学支度金を倍加、入学前支給に

小中学校体育館にエアコン設置

芋川ゆうきさんは、自分の苦労経験を力にして、目黒の医療、福祉、子育て支援を改革できる人です。私の後継者として区政の場に押しあげるために全力でがんばります。



都議会議員 星見てい子

特養ホーム

保育園

目黒民報

2019年2・3月号外 日本共産党目黒地区委員会は見解を発表しました。
目黒民報社 目黒区目黒2-10-5 ご意見・ご感想は ☎3714-6431へ